

事業所名

児童デイサービスわかば

支援プログラム

作成日

7年

3月

19日

法人(事業所)理念		ともに笑い ともに学び そしてともに生きる										
支援方針		あそびや活動を通して、個々に合ったコミュニケーションの仕方を身につけ、様々な場面で自分で選択したり、決める力を身につけながら自分に責任を持ち、その中で自分で出来ることを増やし、自信を持って生活できるよう支援します。										
営業時間		学校がある日	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり(要相談)
学校休業日		9	時	00	分	18	時	00	分			
支援内容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握と対応(利用時毎に検温し、通常より高い場合は伝えられるようになるよう記入簿に平熱も記載しておく。自分の体調に関心を持ち、通常と違う場合に伝えられるよう支援する。音楽活動を通して、リズム運動や呼吸法で健康を維持する。職員は連絡帳での体調確認、発熱、怪我・発作等に対応し電話連絡、通院、救急要請をする。) 生活習慣や生活リズムの形成(基本的な生活習慣が身につくように、スケジュールやカレンダーを使用し活動を視覚化する。室温・湿度の調節、換気、消毒、安全のための環境調整を行い、過ごしやすい環境設定をする。) 基本的な生活スキルの獲得(排泄、食事、衣類の着脱、気候の変化と衣服の調節、身だしなみ、掃除、料理等のスキルを身につけられるよう個々に合わせて支援する。手順書の提示等を視覚化することで理解しやすくする。) 生活におけるマネジメントスキルの育成(スケジュールやタイマーを活用し、時間の使い方を学ぶ。余暇時間の過ごし方を自分で選択する。自分で休憩時間を設定する。子どもたちで行事の立案をし、実行してみる。) 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上(筋力の維持・強化のためにウォーキング、ダンス、踏み台昇降、公園遊び、リズムトレーニングなどを行う。) 保有する感覚の活用(あそび、ボウリング、公園での遊具遊び、音あそび教室、トランポリン、バランスボール、リズムトレーニング、お茶学活動を通して身体の協調運動や感覚統合を促す。) 感覚の特性への対応(感覚の過敏や鈍麻を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行う。) 手指の操作練習(課題活動、あそびなどを通して、つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・とおす・はる・ぬる・はめる・はる・こする、描く、切るの動作を習得する。) 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の特性についての理解と対応(個々の認知の特性をアセスメントし、それを踏まえて情報が適切に処理できるよう支援する。) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習慣(認知や行動の手掛かりとなる概念《物の機能や属性、形、色、音の変化の様子、大小、数、重さ、空間、時間等》を学び、それらを手がかりとして活用して活動できるよう支援する。また、音楽活動を通して順番を待つことを学び、注意力を育む。) 行動障害への予防(認知の特性を踏まえて、言語・絵カード・ジェスチャー等の個々に合ったコミュニケーション手段を獲得し、自分の事を伝えられるように支援する。) 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力の向上(個々に合ったコミュニケーション方法《ことば・絵カード・指差し・ジェスチャーなど》を使用してコミュニケーションできるように支援する。) 言語の受容と表出(個々に合ったコミュニケーション方法を使用して、的確な人・時・場所でやりとりができるよう、活動の中に取り入れる。) 言語の形成と活用(物事、自分の行動等に対応した言語の概念を知り、順序だてて組み立てることを身につける。活動のふりかえりで自分の行動や気持ちを考えて記入する。記入したものを読み、他者にも伝える。) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(大人との関りからコミュニケーションし、様々な活動を通して他児童との関りを増やしていく。) コミュニケーション手段の選択と活用(言語・絵カード・ジェスチャー等の個々に合ったコミュニケーション手段を選択して活用できるよう支援する。) 状況に応じたコミュニケーション(自分の意志でコミュニケーションがとれるように、様々な場面でどのように伝えれば良いか、どのように聞けば良いか学び実行する。子どもたち同士で決めることを活動の中に取り入れていく。) 読み書き能力の向上(文字と文字のマッチング、文字とイラストのマッチング、ピジョントレーニング、クレヨンや鉛筆を持つ、線や文字をなぞる、かるたあそび、ふりかえりで文章を書くなど行う。) 										

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント(愛着)の形成と安定(利用中、安定して過ごせるように、安心感のある環境作りをし、一緒に活動したり対話することで、信頼関係を築き、小さいこと、いつもできていることを認めてほめることで、自分自身に自信を持てるようにする。) ・情緒の安定(生活する中で大小様々な変化があるが、大きく受け止めずに安定して過ごせるように支援する。) ・他者との関り(人間関係)の形成(活動を通して、他者との距離や関わりを少しずつ変化させ、他者がいても大丈夫と思え、他者への関心を持てるように支援する。他者の気持ちや意図を理解するためにSSTで学び、その中で自分で考えることも大事にする。活動やおそびを通して相手の気持ちや意図を理解できるよう支援する。) ・遊びを通じた社会性の発達(役割分担のあるおそびや活動、ルールを守ってするおそびや活動を通して社会性の発達を促す。音楽活動を通して、集団での音楽づくりで協調性を育む。) ・自己の理解と行動の調整(自分の得意なこと・不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解して、状況に応じた行動ができるよう支援する。) ・仲間作りと集団への参加(集団活動参加の際の手順やルールを理解して無理なく参加できるように支援する。) 		
	家族支援	いつでも相談を受け付け、わかばでの支援の伝達や助言をします。また、利用日には連絡帳で様子をお知らせしたり、わかばだより(月1回程度発行)で全体の様子をお知らせします。レスパイトや預かりニーズに対応するために、延長支援を行います。	移行支援	学年が上がる際に『変わること・変わらないこと』を考えたり、伝えたりしスムーズに進級進学できるように支援します。
	地域支援・地域連携	お子さまに関わる学校や相談支援事業所・放課後等デイサービスと情報共有し、統一した支援を行うように心がけます。 必要に応じて、併行利用事業所や学校等と担当者会議をします。	職員の質の向上	内部研修(感染に関すること、虐待防止・身体拘束に関することなど) その他スキルアップ等、必要に応じた外部研修への参加
	主な行事等	長期休み等を利用した外出訓練、季節行事(クリスマス会・お正月行事・節分など)、避難訓練、地域イベントへの参加、地域公共施設等への外出など		